

034 腰痛（筋肉痛的な筋膜性腰痛）

女性 二十二歳 OL

主訴 腰痛

現症 2日前より発症。引越しの荷作りをしている時に腰を痛める。痛みだけでなく、胸苦しさや頭重もあるという。

所見 脈は「血虚」いわゆる冷え性の脈である。
既往症はなく、普段あまり使っていない筋肉を使った為、筋肉痛的な筋膜症を起こしたようだ。

処置 「扁桃」、血虚の「三陰交・内関」を雀啄しながら、脈の変化を診て、座位で「やや後帯脈」が緊張していたので、この部を入念に雀啄をする。両側したあと、前後屈、回旋させたが「痛くない」といい、本人の顔がほころんでいった。

経過 彼女は1回のみでの来院だったが、のちに彼女の紹介で患者が来院したので、多分1回のみでの治療でよくなったのだろうと判断した。

（「帯脈」の解説→症例 038）